電波タイムズ　2018.9.21

マンション専用災害時ICTサービスが販売急増

テンフィートライト

テンフィートライト　15年3月より2年半、「ゆいぽた」は、マンションごとに設定した震度以上の緊急地震速報を受信すると通常モードから災害モードへ自動で切り替わる。管理者による手動での災害モード切り替えも可能。災害モードに切り替わると、ネット上でマンション居住者が一斉につながる。東日本大震災において、利用者からの発信が急増し、輻輳状態が発生したため、通信規制が実施された。一方、インターネットに関しては固定系・移動系共に比較的安定的に利用可能だった。

7月末時点で800棟を超えて提供を開始しており（826棟4万5708戸）、爆発的に提供個数が伸びている。先日発生した大阪地震でも正常に起動し、加入者は利用しており、西日本の水害等もあり注目されている。また、最近ではマンション管理会社の物件に対するリスクマネジメント、また行政においても、「災害対策本部が立ちあがる前のリスク」をマネジメントすることが重要であるとの考え方が評価され始めている。

「ゆいぽた」は、マンションごとに設定した震度以上の緊急地震速報を受信すると通常モードから災害モードへ自動で切り替わる。管理者による手動での災害モード切り替えも可能。災害モードに切り替わると、ネット上でマンション居住者が一斉につながる。東日本大震災において、利用者からの発信が急増し、輻輳状態が発生したため、通信規制が実施された。一方、インターネットに関しては固定系・移動系共に比較的安定的に利用可能だった。

「ゆいぽた」は、マンションごとに設定した震度以上の緊急地震速報を受信すると通常モードから災害モードへ自動で切り替わる。管理者による手動での災害モード切り替えも可能。災害モードに切り替わると、ネット上でマンション居住者が一斉につながる。東日本大震災において、利用者からの発信が急増し、輻輳状態が発生したため、通信規制が実施された。一方、インターネットに関しては固定系・移動系共に比較的安定的に利用可能だった。